

# 今年の私の思い④

○モノへの「愛着」は「質の良さ」から生まれる



## 森 由香 (もりゆか)

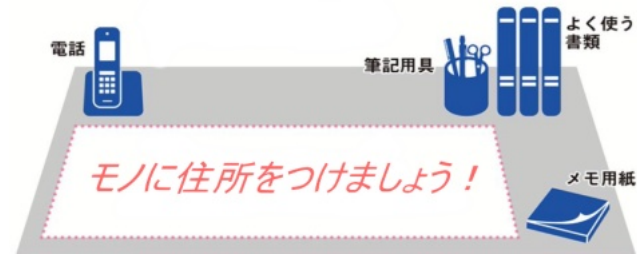
- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー1級
- 整理収納認定講座講師
- ルームスタイリスト1級

5月の薫風が心地良い季節になりました。暦の上では「立夏」です。夏の始まりです。季節の変わり目ですのご自愛ください。  
さて、新しい季節の訪れは「旬」の食べ物で味わう楽しみもあります。旬物は値段も手頃です。  
旬よりも早く出回る初物や出始めの物は「走り」ですが、昔の人は、粋な事として走りを楽しみました。  
値段は高めですが、日頃の暮らしが慎ましかでも走りに高いお金を出す事を厭わなかったのは、「旬」を待たずに「走り」を楽しむ事で心と体が満足でき、日々の暮らしに潤いが得られたからです。

この満足のいくお金の使い方はモノの買い方にも必要です。  
片付かない人の多くは、モノを買う時にそれがもたらす満足感をあまり考えていません。  
モノがもたらす満足感というのは、本来の役目をそのモノがどれだけ担えるかの性能にかかってきます。  
性能が良いという事は質が良い事という事です。質の良いモノを使っていると満足感があります。  
ところが、「安さ」ばかりに価値を置いておくと、本来の役目の果たせないモノや短い期間しか満足できないモノを買ってしまいます。  
期待通りの動きをしないモノには、愛着が湧かず、また同じ様なモノを買い求めてしまいます。使い手に満足感がないからです。  
また、新たなモノを買っても前のモノを使い切っていないと思うと、値段に関わらず処分できません。お金が出ていき、モノは増えていきます。

一般的には、値段はそのモノの質に対応しています。  
ある程度の質を求める事は、お金もかかりますが、満足感もあります。  
「安さ」ではなく、そのモノの「質」に意識を向ければ、自ずと良いモノが手に入ります。  
再度買う事もなく長持ちするので結果的には節約になります。  
さらに、完全に使い切れれば心置きなく処分でき、モノも増えません。  
必ずしも値段の高いモノが良い、安いモノが悪いわけではありませんが、自分の望む質の程度とそれに見合う値段のバランスを考えてモノを買う習慣を身に付ける事が必要です。  
お金が貯まる人の共通した特徴は、この習慣がある事です。  
家の中は、満足できるモノだけにすれば自然に片付いていきます。  
整理収納アドバイザーが、多少高価でも、満足できるモノを手に入れる提案をする根拠はここにあるのです。

※朱夏らいふ<朱夏>とは・・・  
中国の五行説では、青い春の次に来る季節は朱い夏です。人生の朱い夏を頑張っていく意味を込めて名付けました。



## 整理収納の5つの原則（鉄則）

① ▶

住む広さから定数を決めよう  
目標は8割収納

自分に合った適正量は、収納スペースに入るだけ。モノの種類別の数、使用頻度から考えると決めやすいです。

② ▶

必ず家に帰ろう  
使ったら戻すが大原則

使ったらすぐに戻せなくとも、一日の終わりに外出前にちょっと戻す習慣があるといつもスッキリしています。

③ ▶

仲間は同じエリアに住んで  
そのモノ達はひとまとめに

使うときは、ひとまとめにしてあるセットごと出してきて使います。グループを崩さないことが大切です。

④ ▶

活躍するエリアに住もう  
動きの無駄は出さず

使用頻度の高いモノから、中段、下段、上段に収納すると使いやすいです。

⑤ ▶

いつもスタンバイOKなところにしよう  
出しやすいはしまいやすい

動線の長さ、動作の数を意識して収納場所を決めれば、家族も協力して戻してくれます。

発行日：2015年5月1日（金）No. 6  
編集&発行：朱夏らいふ 森 由香  
制作協力：トータルサポートぶらざ  
電話：048-752-5508 FAX：048-752-5508  
HP：http://shukalife.com  
E-mail：info@shukalife.com



# 朱夏（しゅか）通信（6）

月刊 朱夏らいふ



整理収納で人生を変える5つのポイント  
→整理・整頓・効果・整美・ルール

